

▲使用上の注意▲

※12V車専用 12V以外の車両で蓄電すると本体の故障の原因となります

▲警告 ▲ この表示内容を見誤り、誤った使い方をすると、死亡や重症などの重大な傷害に結びつく可能性があります。

- 使用前には、必ず取扱説明書を熟読し、本製品の使用方法をよく理解してから安全にお使いいただきますようお願い致します。記載されている使用方法以外では、絶対に使用しないでください。
- 車両のバッテリー位置などによっては、本製品を使用することが困難な場合がありますので、本製品使用前には、必ず車両の取扱説明書をよく確認してください。
- 不測の事態を避ける為にも、本製品使用中は絶対に本製品や車両から離れないでください。
- 作業中に、万が一バッテリー液が身体に付着した場合は、清潔な水で速やかに洗い流してください。
- 本製品使用の際は、ファン・ベルト・ブリー等にてケーブルが巻き込まれないよう、十分注意してください。
- 安全のため、本製品使用前には、必ずサイドブレーキを引き、ギアをパーキングにしてください。マニュアル車の場合は、ギアをニュートラルにしてください。
- 本製品の分解・改造はしないでください。
- 可燃性の液体（ガソリン等）やガスのある場所では絶対に使用しないでください。
- 作業中は必ず換気をし、作業場の換気を良くしてください。
- 安全のため、作業に適した服装で作業を行ってください。
- ジャンプスタート出力中は、プラス側のケーブルをマイナス端子及びボディなどの金属部に接触させないでください。接触させるとショートして火花が発生します。
- 本製品は、防水仕様ではありません。雨が降っている中で作業したり、湿った場所や濡れた場所での作業は行わないでください。
- 高温・直射日光下では使用しないでください。また、作業中に周辺温度が60℃以上にならないよう注意してください。
- 本製品は精密な電子回路を内蔵しております。ぶつけたり、落としたりしないよう取扱いには十分注意してください。
- 使用しない場合は子供の手の届かない場所、又は施錠のできる場所に保管してください。また、子供や幼児の手の届くところで使用しないでください。
- 作業時、本体や各アダプターに触れないでください。
- 各アダプターを乱暴に扱ったり、引っ張って電源から抜いたりしないでください。
- 本体が異常に熱くなったり、その他異常を感じた場合は、速やかに使用を中止してください。
- 本製品を使用する前に、必ずクランプやケーブル、各部に異常がないかを確認してから作業を行ってください。
- 本製品は、12V車専用です。他の車両には使用しないでください。
- 誤った使用方法により、商品が破損・人体への損傷・物品等への損害が生じた場合、一切の保証、ならびに責務は無効となります。

▲注意 ▲ この表示内容を見誤り、誤った使い方をすると、人的障害及び製品の故障やその他物的損害に結びつく可能性があります。

- 車両バッテリーが、過放電、または劣化した状態である場合は、本製品を使用することができません。
- 本製品は、車載バッテリーの代替品ではありません。車載バッテリーを外し、本製品のみでエンジンを始動させることはできません。
- 本製品は緊急用です。慢性的にバッテリー上がりを起こしている車両は、その原因を解決し、修理等を行ってください。
- 初回使用前には、必ず満充電を行ってから使用してください。
- 本製品を保管する際は、クランプ・ケーブルを元の位置に戻し、常温で清潔な場所に保管してください。高温・多湿・ホコリが多い場所や振動のある場所では保管しないでください。
- 本製品を使用中には、ケーブル・本体などを動かさないでください。また、本製品を安定した場所に置いて使用してください。
- 本製品の使用範囲内であっても、車輛の状態や状況によっては、本製品を使用することが出来ない場合があります。
- 専用のシガーソケットDC12Vアダプター・ブースターケーブル以外の蓄電はしないでください。
- ブースターケーブルで蓄電中にシガーソケットでの同時蓄電をしないでください。本体故障の原因となります。
- 使用目的以外では、使用しないでください。
- 誤った取付け、分解、改造等による本製品の保証は一切負いかねます。
- 本製品は雨や湿った状態で使用しないでください。本製品の機能が影響を受ける事があります。
- 本製品は常に安全でしっかりした状態にある事を確認してください。
- 本製品は子供の手の届かない場所に保管してください。
- 本製品は身体や精神に障害のある人（子供を含む）及び経験、知識の乏しい人が指導又は監督されていない状態で使用する様には設計されていません。子供が本器で遊ばない様に十分気をつけてください。
- 20℃以下で保管した場合、本体の液晶表示部分が低温により適正表示が出来なくなる場合があります。

保証規定

1. 保証期間

製品の購入日より1年間となります。本書および購入証明書（販売店のレシート）をもって保証の適用とさせていただきますので大切に保管いただきますようお願い致します。

2. 無償修理既定

取扱説明書に記載された使用方法や注意事項に従った正常な使用のもとで保証期間中に故障が発生した場合に無償修理対応を致します。保証の対象は製品単体のみとなります。付属品は初期不良のみの対象となりますのでご了承ください。保証期間内であっても以下の項目に該当する場合は保証対象外となります。

- 本製品の取扱説明書に記載された使用方法及び注意事項に反する取扱いにより生じた故障の場合。
- お買い上げ後の落下・水没・衝撃、悪条件での放置など不適当なお取扱いによって生じた故障の場合。
- 弊社以外で分解・改造・調整・部品交換がされた場合。
- 火災・地震・水害・落雷・その他の天災や異常電圧等による故障・破損の場合。
- 本書および購入証明書の提示がない場合。
- 譲渡品、転売品、中古品（オークション購入等を含む）の場合。

3. 無償修理お申し込み方法

保証期間内に無償修理を受けられる場合は、本書および購入証明書を製品に添えて、ご購入いただいた販売店にご依頼ください。

4. 輸送にかかる費用

修理にかかる輸送費用について、弊社まで及び販売店窓口までの費用はお客様にご負担いただいております。弊社からお客様もしくは販売店窓口までの返却費用は、弊社が負担申し上げます。

5. 免責事項

本製品の故障や障害、その使用によって生じた直接的・間接的な損害、金銭的損害につき、弊社は一切責任を負いません。ブースターケーブル・リモートコントロールユニット・DC充電ケーブル等は初期不良のみの対応とさせていただきます。破損した場合は補修パーツをご購入ください。

※ご注意※

万一、弊社の製造上の原因による故障が生じた場合、保証規定に基づき無償修理、交換を致します。

品番	SBR-12
お買い上げ日	
お名前	
ご住所	
電話番号	
販売店の住所/電話番号	
レシート貼り付け	

弊社では、お客様の個人情報を本製品の保証以外の目的で使用することはありません。

お問い合わせ先

オールマイティ株式会社

〒136-0021 東京都墨田区緑 3-11-11 1F
TEL 03-6659-6595 FAX 03-6659-6597

SBR12M20240122



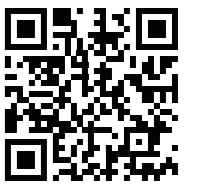
SBR-12 取扱説明書

ご使用になる前に必ずお読みください

この度は弊社製品をお買い上げ頂き誠に有り難うございます。ご使用前にこの取扱説明書を良くお読みの上、正しくお使いください。この取扱説明書は保証書も兼ねていますので大切に保管してください。

- 使用する製品の説明書をよく読み、注意事項を守って作業してください。
- クランプやケーブルに損傷がないか確認してください。
- 本製品は12V 乗用車 6000cc ガソリン車・3000cc ディーゼル車までの適応です。適応内でも車両の状態によっては始動できない可能性があります。
- 12V 車専用です。24V 車には使用しないでください。

使い動画はこちら!



※12V車専用 12V以外の車両で蓄電すると本体の故障の原因となります

各名称 / 機能



SBR-12 取扱説明動画



セット内容



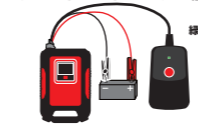
製品仕様

品番	SBR-12
最大出力	1000A
始動可能範囲	6000ccまでのガソリン車 3000ccまでのディーゼル車
動作 / 保管温度	-20℃～60℃ (コンデンサーの出力可能温度は-40℃ですが本体の液晶ディスプレイが-20℃で表示が不安定になる為)
ブースターケーブル長さ	70cm (脱着式)
その他の機能	接続したバッテリーの電圧表示機能 蓄電残量表示
搭載安全回路	①ブースターケーブル逆接続時出力停止回路 ②過蓄電保護回路 ③過放電保護回路 ④本体温度 60℃以上で動作停止回路
保証期間	製品購入後1年間 安心の国内修理対応可能
本体重量	2kg
サイズ	W201mm×H298mm×D72mm
生産国	中国

リモコンの使用方法

～セルフチャージまたは外部より蓄電された後～ 基本的な使用法は裏面をご確認ください

①本体のリモートコントローラー差し込み口につないで運転席に移動します。



その際、緑ランプ点灯を確認します。(消灯している場合はリモコンのスイッチを一度押しと本体の電源が入ります。)

②スイッチを押して速やかにセルを回す / エンジンスタートボタンを押します。(アラーム音がなります)



③補蓄電して完了

補蓄電後は約15時間の間セルフチャージ / 外部より蓄電させる必要なくご使用いただけます

※アラーム音作動中にクランプを絶対に外さないでください。(ショート対策)

救援車両のバッテリーにつないだ時の状態によって下記の始動方法で始動できます。

※12V車専用 12V以外の車両で蓄電すると本体の故障の原因となります

A. セルフチャージ (つないだまま)

■救援車両のバッテリーが10V以上の場合

そのままつないでセルフチャージ (10V→14Vに昇圧・約3分以内) して始動可能になります。



B. 外部蓄電 (それ以外からの蓄電)

■救援車両のバッテリーが10V以下の場合

下記の外部蓄電方法 (3パターン) で始動可能になります。

- ①10V以上のバッテリーにつないで 3分以内で蓄電
- ②正常な車両のDC12Vシガーソケットにつないで 5分以内で蓄電
- ③5V USBジャックにつないで 45分以内で蓄電



外部蓄電する場合の車両はなるべくエンジンをかけて蓄電してください。

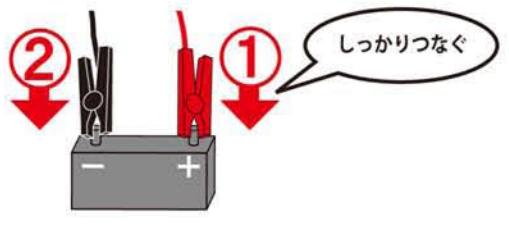
シガーソケットの形状が特殊な場合蓄電できない場合があります。分岐ケーブルは使用しないでください。出力が16Vを超える場合、充電回路が故障するおそれがあります。

USBで蓄電する際に、接続するUSB機器によっては蓄電できない場合があります。また急速充電器 (QC対応) など、出力が16Vを超える場合、充電回路が故障するおそれがあります。

ジャンプスタート使用方法

ご使用前に 接続するバッテリーターミナル部をワイヤーブラシ等できれいに清掃してください。救援車両のライト/エアコン等の電装品は全て OFF にしてください。

STEP3 救援車両のバッテリー状態を確認
救援バッテリーにブースターケーブルをつないでください。



STEP4 電圧を確認
つないだバッテリーの電圧が表示される

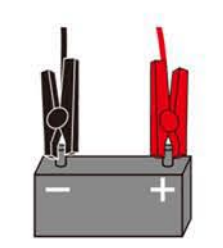


※救援バッテリーが 5V 以下の場合、ブースターケーブルをつないでも電圧表示がされません。その場合、セレクトスイッチを押して画面表示させてください。(それでも表示されない場合は、外部蓄電をしてください。)

10V 以上 **10V 以下**

セルフチャージ

STEP5 つないだまま待つ



救援バッテリーにつないだまま待ち、電気を蓄えます。

外部より蓄電

STEP5 一度外して蓄電させる
一度本体の電源を落とし、(スイッチ長押し) 救援バッテリーからブースターケーブルを取り外します。

①他車のバッテリー ②DCシガーソケット ③USBソケット



のいずれかにつないで蓄電します。接続すると自動で行います。

※ブースターケーブルで蓄電中にUSB/シガーソケットでの同時蓄電をしないでください。本体内部の回路が破損します。



点灯する 蓄電が終わったら消える

蓄電が完了すると **STANDBY** マークが点灯します。

※STANDBY マークは 80% 充電でも表示されます。そのまま使用することも可能ですが、満充電での使用をお勧めします。

※ブースターケーブルで蓄電中にシガーソケットでの同時蓄電をしないでください。本体内部の回路が破損します。

STEP6 ジャンプスタート



セレクトスイッチを押して、START モードにし
アラーム音が鳴ったら速やかに※1
セルを回す/エンジンスターボタンを押します。

セルマーク表示が点灯に変わります

※1 救援バッテリーが 10V 以下と過度に低下している場合、本体からの始動電流がエンジンを始動させる前に救援バッテリーに吸収されてしまう可能性があります。吸収されてしまった場合、再度本体を蓄電しエンジン始動を行ってください。

STEP7 補蓄電



補蓄電すると約 15 時間の間、電気を本体に蓄えておくことが可能です。


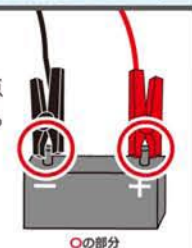
エンジン始動成功後、補蓄電を自動的に開始します。(補蓄電時間: 約 1 分以内)

アラーム音が止まるまで、そのままつないだ状態で待ちます。
アラーム音が止まったらケーブルを外して作業終了です。

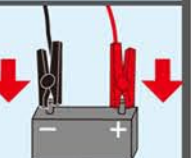

※電源はその後自動で切れます。
※アラーム音作動中にクランプを絶対に外さないでください。(ショート対策)

失敗例と対策



ジャンプスタートできない場合

失敗例	対策
<p>エンジン・バッテリーのコンディションが悪い 救援車両のエンジン/バッテリーのコンディションによって始動できない場合があります。車両側の点火系のトラブル/燃料供給トラブル/バッテリーの物理的的不良等の場合、セルモーターが作動しない、セルモーターが作動してもエンジンが始動できないことがあります。また、本製品はエンジン始動電流を一気に放出させる特性がある為、出力タイミングとエンジン始動のタイミングが合わないと始動できません。</p>	<p>この場合は、複数回ジャンプスタートを試みてください。(目安5回) アラーム音が鳴ったらなるべく早くエンジンをスタートさせてください</p> 
<p>接続する接点が不十分 バッテリーターミナルとブースターケーブルの接点が不十分な場合、始動する為の電流が十分に送られず始動できないことがあります。</p>	<p>必ず作業前に、 ①ブースターケーブルと接続する車両側ターミナル部分の汚れ(グリス・埃・酸化物)をワイヤーブラシなどで取り除いてから接続してください。ターミナルがきれいな場合でも接点を磨くことをお試しください。 ②ブースターケーブルを接続する際は、クランプと車両側ターミナル部との接触面積(通電面積)がなるべく多く取れる様に取り付けてください。</p> 
<p>古いディーゼル車でジャンプスタートできない ディーゼル車では、グロープラグを温める為に電気を吸収し、始動に至らないことがあります。</p>	<p>この場合は、複数回ジャンプスタートを試みてください。(目安5回)</p>

SBR本体に蓄電できない / 蓄電が進まない場合

失敗例	対策
<p>DC 充電ケーブルを使用した際に本体に蓄電できない / 進まない 車両側に SBR 本体が要求する電力を制御する安全回路が搭載されている場合、蓄電できない・もしくは蓄電が進まないことがあります。</p>	<p>DC 充電ケーブルで蓄電ができない・進まない場合は、ブースターケーブルを使用して直接バッテリーから蓄電してください。</p> 
<p>SBR 本体に満蓄電できない(メモリが最後まで上がらない) SBR 本体に蓄電する際は使用頻度により、まれに満蓄電できなくなる場合があります。これは内蔵しているコンデンサー間のバランスが悪くなった場合に発生します。 ※SBR-12 は 12V 専用モデルです。 24V の車両 (DC24 ソケット・バッテリー) で蓄電した場合に充電回路が破損する場合があります。</p>	<p>この場合は、SBR 本体のコンデンサーを 1 度なるべく放電し、バッテリーにつないで再蓄電を試みてください。 12V 以上のバッテリーにつないでも蓄電されない場合は、充電回路の故障が考えられるので、メーカーまでお送りください。</p> 

警告アラームについて

<p>SBR-12 は下記の状態になると、警告アラームとともに液晶パネルに PROTECTED と表示されます。</p>  <p>警告アラーム/PROTECTED 表示が作動するケース</p> <p>①極性間違いの場合 (バッテリーのプラス/マイナスを間違えてつないだ場合) ※ジャンプスタート出力中は安全回路が働かないのでご注意ください。 ②本体が異常出力した場合 (車両側の要求電流が本体の最大出力を超えた場合) ③外部から異常電圧 (サージ) が入った場合 (車両発電中で発生した異常電圧が入った場合)</p>	<p>警告アラーム・PROTECTED 表示は電気を SBR 本体の中の安全回路内で吸収し復元するので、通常は 1 度電源を OFF にしてしばらく放置して頂くことで復元するのですが、大きなサージ電圧が入った場合等に安全回路内で処理ができず故障した場合は、電源スイッチを切ろうとしてもアラームがなり続けてしまいます。</p> <p>この場合、アラームスピーカーの出口を塞ぎ、アラームが鳴りやむまで作動させ続けてください。鳴りやんだのを確認後、検査の為弊社までお送りください。</p>  <p>フタを閉じて放置 (音が少し小さくなります)</p>
---	---